

中津市歴史博物館収蔵品展「オール諸田遺跡・諸田南遺跡展」

担当：歴史博物館 花崎、衛藤（電話 0979-23-8615）

諸田地区に所在する諸田遺跡と諸田南遺跡は旧石器時代から近代までの人々の生活の痕跡がある遺跡です。先史時代には落とし穴等が掘られ狩猟の場として、古墳時代後期からは集落が営まれています。タコ壺漁や鉄製品の生業の痕跡や、「L」字カマド（オンドル）と呼ばれる朝鮮半島の住居形態を持つ建物跡が見つかったことから渡来系集団の集落であったと考えられます。本展では中津市教育委員会が平成18年から21年まで発掘調査した成果を時代ごとに紹介します。

企画展情報

会 期：令和6年6月1日（土）～7月28日（日）

会 場：中津市歴史博物館 展示室1（テーマ展示エリア）、展示室2

開館時間：午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）

休 館 日：月曜日（祝日の場合はその翌日）

観 覧 料：一般300円、団体100円（20人以上）、中学生以下無料

主な展示品

- ・遺跡実測図、航空写真
- ・旧石器時代から近代までの石器、土器など



剥片尖頭器
（旧石器時代）

市内最古の石器の一つ。



「L」字カマド（オンドル）
（古墳時代）

オンドルと呼ばれる暖房装置のついた竪穴住居です。主に北部九州や日本海側の一部地域の遺跡で見つかります。



線刻タコ壺（古墳時代）

当遺跡では100点を超えるタコ壺が出土しましたが線刻されたモノは1点しか見つかっていません。



羽口

(古墳時代～古代)

鍛冶炉に空気を送る装置の一部。先端に熱で溶けた金属が付着しています。



器台？

(奈良時代)

県内では出土例がない
用途不明の土器です。



耳環

(古墳時代)

水路に繋がる土坑から出土。水にかかる祭祀に使用されたものと思われます。

関連イベント

●講演会「古代豊前の渡来人 上毛郡・下毛郡を中心に」(事前予約制)

講師：亀田修一先生(岡山理科大学特任教授)

日時：7月6日(土) 13時30分から

会場：新中津市学校

料金：無料

●ギャラリートーク

日時：6月15日(土)、7月21日(日) 両日とも11時から

会場：中津市歴史博物館

料金：観覧券が必要